

- 11 月 19 日（火曜日） 【出発前オリエンテーション】
成田国際空港より出発
イ・グスティ・ングラ・ライ国際空港（バリ・デンパサール）到着
- 11 月 20 日（水曜日） イ・グスティ・ングラ・ライ国際空港（バリ・デンパサール）から
プレジデnte・ニコラウ・ロバト国際空港（ディリ）到着
【表敬訪問】在東ティモール日本国大使館 大使 木村 徹也 氏
【講義】「東ティモールと日本について」
講師：在東ティモール日本国大使館 一等書記官 大塚 菜生 氏
【視察】認定特定非営利活動法人パルシック

- 11 月 21 日（木曜日） **【交流】**起業家とのビジネス交流（国際開発計画（UNDP）、国際労働機関（ILO）ビジネスコンテスト受賞者）
【視察】独立行政法人国際協力機構（JICA）東ティモール事務所
 ① JICA 海外協力隊 活動見学（ドミニカナ・エーラ学校）
 ② 東ティモール国立大学（UNTL）工学部 事業見学・学生との交流
【レセプション】
 現地起業家との交流（在東ティモール日本国大使館 大使 木村 徹也 氏公邸）
- 11 月 22 日（金曜日） **【交流】**大学訪問（UNPAZ）及びビジネス交流（青年商工会メンバー）
【視察】特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
【視察】東ティモール・レジスタンス博物館
- 11 月 23 日（土曜日） **【視察】**マンレウアナ市場
【ホームビジット】
- 11 月 24 日（日曜日） **【視察】**クリスト・レイ（キリスト像）、タイス市場、サンタクルス墓地
【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 11 月 25 日（月曜日） **【報告会】**渡航成果・帰国後のアクション・プラン発表
 プレジデンテ・ニコラウ・ロバト国際空港（ディリ）より出発、イ・グスティ・ングラ・ライ国際空港（バリ・デンパサール）へ到着
【視察】バリ市内
 イ・グスティ・ングラ・ライ国際空港（バリ・デンパサール）より出発
 成田国際空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

 <p>◆ASEAN加盟の歴史</p> <p>ASEANについて知ろう！</p> <p>日系企業：14,500社以上</p>	
<p>2024 年 8 月 27 日【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」</p>	<p>2024 年 8 月 27 日【講義】記念撮影</p>

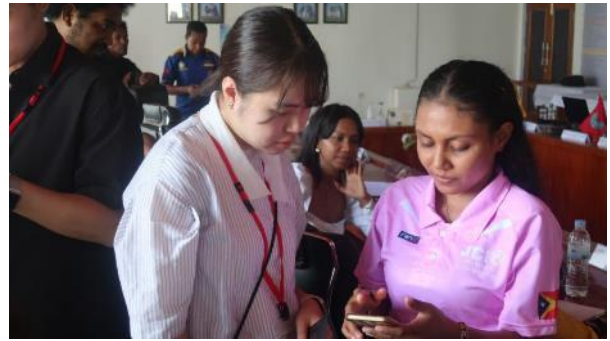
	
<p>2024 年 9 月 11 日【講義】派遣国理解講義・テーマ関連講義「東ティモールを知らう！（導入編）」</p>	<p>2024 年 9 月 11 日【講義】記念撮影</p>
	
<p>2024 年 11 月 7 日【参加者説明会】</p>	<p>2024 年 11 月 7 日【参加者説明会】記念撮影</p>

派遣プログラム

	
<p>2024 年 11 月 20 日【表敬訪問】 在東ティモール日本国大使館 大使 木村 徹也 氏</p>	<p>2024 年 11 月 20 日【視察】 認定特定非営利活動法人パルシック</p>
	
<p>2024 年 11 月 21 日【交流】 起業家とのビジネス交流</p>	<p>2024 年 11 月 21 日【視察】JICA 海外協力隊 活動見学（ドミニカナ・エーラ学校）の様子</p>



2024 年 11 月 21 日【レセプション】
現地起業家との交流



2024 年 11 月 22 日【交流】大学訪問（UNPAZ）
及び青年商工会メンバーとのビジネス交流



2024 年 11 月 22 日【視察】
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン



2024 年 11 月 22 日【視察】
東ティモール・レジスタンス博物館



2024 年 11 月 23 日【視察】マンレウアナ市場



2024 年 11 月 23 日【ホームビジット】



2024 年 11 月 24 日【視察】タイス市場



2024 年 11 月 24 日【視察】サンタクルス墓地

	
2024 年 11 月 24 日【報告会】	2024 年 11 月 25 日【報告会】 集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

プレプログラム（オンライン事前学習）

◆ 社会人

東ティモールで実際に働かれている方のお話を伺い、知識を得られただけでなく、東ティモール訪問の際のイメージがより強く湧いてきました。実際の写真や動画も見せていただき臨場感がありましたし、東ティモールの良い面だけでなく現実的な面も伺うことができて大変有益でした。

派遣プログラム

◆ 大学生

ホームビジットでは、普通の旅行ではなかなか体験できないことができて良かったと思います。実際に現地の方のご家庭に訪問させていただき、日々の暮らしの雰囲気を見たり、結婚に関する慣習などについていろいろと細かいことまで教えていただいたりと、非常に勉強になりました。

◆ 社会人

現地の人の暮らしを知れたこと、現地の人がこの国をどのように捉えているのかなどお話しできて良かったです。国内外旅行で「来て良かった」と感じることは多くありますが、実際にもう一度足を運ぶことは滅多にありません。しかし、今回ご縁があって、つながることができたホストファミリーにはぜひまた会いたいと思いましたので、いつかまた渡航したいです。

◆ 社会人


最も良かった点は、起業家や学生の方々と直接お話をすることができ、現地のビジネスや政治に関してお話を伺う機会を設けていただいた点です。在東ティモール日本大使館や UNTL でのビジネス交流では、多様なビジネスに携わり、東ティモールの社会問題に対して貢献する事業を発展させようと取り組む姿が非常に印象的でした。また、UNTL の学生との交流では、現地の学生が東ティモールの産業に対して、将来性をどのように捉えているのか、そしてどんなことをしたいのかを知り、東ティモールの未来を見るような体験をすることができ、貴重な時間になりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

東ティモールの雇用機会の不足等を考えると、社会人及び起業精神のある大学生の参加は有意義だったと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等 プレプログラム（オンライン事前学習）

	<p>2024 年 9 月 11 日（Instagram）</p> <p>「東ティモールについて」外務省による派遣プログラムの勉強会に参加しました。</p>
---	--

派遣プログラム

	 <p>アジアで一番新しい国・東ティモールにしばらく滞在しています。木村徹也駐東ティモール特命全権大使公邸でのレセプションパーティーにお招きいただき現地の起業家と交流したり、100人以上の学生を前に日本文化についてプレゼンテーションをしたり、JICAが支援する学校を訪問したりと、充実した日々を過ごしています。</p> <p>※ようやく、東南アジア全11カ国の地を踏みました！</p>
<p>2024 年 11 月 22 日（Instagram）</p> <p>「日本の海外協力隊が活動している学校」 彼らが提供している栄養満点の食事と、生徒たちにゴミの分別を教える方法に非常に感銘を受けました。</p>	<p>2024 年 11 月 23 日（Facebook）</p> <p>アジアで一番新しい国・東ティモールにしばらく滞在しています。木村徹也駐東ティモール特命全権大使公邸でのレセプションパーティーにお招きいただき現地の起業家と交流したり、100 人以上の学生を前に日本文化についてプレゼンテーションをしたり、JICA が支援する学校を訪問したりと、充実した日々を過ごしています。</p>



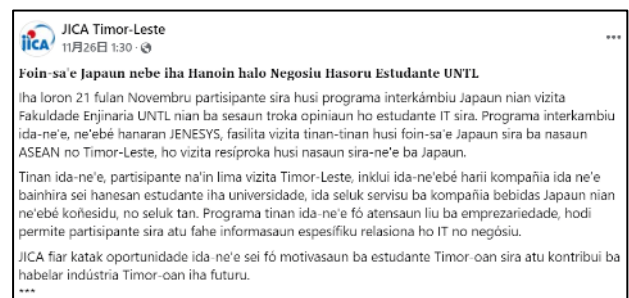
2024 年 11 月 24 日 (Instagram)
NPO ピースウィンズ・ジャパンの東ティモール駐在員の方とお話をさせていただきました。東ティモールはまだまだ可能性に溢れた国で、この国は「人柄が本当に良い」と皆さんおっしゃっていました。貴重な機会をありがとうございました。



2024 年 12 月 20 日 (Instagram)
外務省が推進する対日理解促進交流プログラム JENESYS にて東ティモールに行ってきました。
(中略)
滞在期間は、現地の学生や起業家と交流したり、現地で活動されている日本人の方とお会いしたり、旅行では出会えないような方々と交流させてもらいました。おかげで現地の方々とコネクションができ、数年後の東ティモールの変化も見たいので、東ティモールにはまた訪れる気がします。ここでの学びを今後に繋げられるようにこれからも変わらず突き進んでいきます。



2024 年 11 月 22 日 (在東ティモール大使館 Facebook)
5 人の日本の若手起業家 (または未来の起業家) が、JENESYS ビジネス交流プログラムの一環とし



2024 年 11 月 26 日 (JICA 東ティモール事務所 Facebook)
「ビジネスマインドを持つ日本の若者が UNTL の学生と交流」

てディリを訪問しています。彼らは、東ティモールの若手ビジネスパーソンや NGO、学生たちと交流し、それぞれの経験や視点を共有しています。東ティモールでの実り多い滞在をお祈りしています。

11 月 21 日、日本の JENESYS プログラムの参加者が UNTL（東ティモール国立大学）の工学部を訪問し、IT 学科の学生たちと意見交換セッションを行いました。この交流プログラムは「JENESYS」と呼ばれ、日本の若者が ASEAN 諸国や東ティモールを訪問し、逆にこれらの国々から日本を訪問する相互交流を促進しています。

今年は、大学生在学中に起業した参加者や、日本の大手飲料会社に勤務する参加者など、多様なバックグラウンドを持つ 5 名が東ティモールを訪れました。今年のプログラムでは特に起業家精神に焦点を当て、IT とビジネスに関連した知見を共有しました。

JICA は、この機会が東ティモールの学生たちに将来的に東ティモール産業の発展に貢献する動機を与えると信じています。

6. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）


全 1 グループが発表

東ティモールの魅力

- ・ 文化的魅力
 - ・ 「みんなの利益」を優先する温かい社会。
 - ・ 多言語話者が多く、国際的な交流にポテンシャルが高い。
- ・ 自然資源と環境
 - ・ 資源が豊富で農業・漁業に適した環境。
- ・ ビジネスチャンス
 - ・ 起業家が積極的で、社会問題解決型ビジネスの成長余地が大きい。

改めて感じた日本の凄さ

- ・ 資源（石油、天然ガス等）が少ない中、産業を発展させてきました。
- ・ 課題先進国として多くの課題に直面・解決
- ・ 観光資源を有効活用しています。
- ・ 都市と地方の格差が比較的少なく、教育が充実しています。
- ・ 古くから伝わる伝統や文化があります。



ACTION PLAN

【東ティモールの魅力発信week】

手段	発信内容	発信目的
01		
02		
03		

【成果の発表】

◆ **東ティモールの魅力**

「みんなの利益」を優先する温かい社会で、多言語話者が多く、国際的な交流にポテンシャルが高いと思います。自然資源が豊富で農業・漁業に適した環境です。起業家が積極的で、社会問題解決型ビジネスの成長余地が大きい印象を受けました。

◆ **改めて感じた日本の魅力**

日本は、資源（石油、天然ガス等）が少ない中、産業を発展させてきました。課題先進国として多くの課題に直面・解決してきました。観光資源を有効活用しています。また、都市と地方の格差が比較的少なく、教育が充実しています。古くから伝わる伝統や文化があります。

【アクション・プラン】

- ・ 帰国後 1 か月以内に、勤務する会社の所属部門のマネージャーやメンバーに JENESYS プログラムを通じて体験したこと、学んだ事を共有します。東ティモールの歴史や文化、政治的な環境を紹介し、ビジネスの可能性について発表します。

- ・「東ティモールの魅力発信 week」と題して、インスタグラムで東ティモールの概要や JENESYS プログラム、東ティモールでの気づきや可能性について発信します。東ティモールについて知ってもらい、次の渡航先の選択肢に入れてもらうためです。
- ・帰国後 1 週間以内にショート動画を作成し、様々な SNS 媒体に投稿します。東ティモールについて日本の皆さんに興味を持ってもらうためです。
- ・帰国後に社内で東ティモールでの気づきを共有し、現在開発中の旅行関連システムにて、東ティモールの何らかのかたちで含めて進めていきます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）